

RDUF小委員会 データ管理計画 (Data Management Plan: DMP)

活動メンバー：13機関20名

NIMS、JST、株式会社日本データ取引所、公益財団法人東京財団政策研究所政策データ・ラボ、NII、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、日本学術振興会、日立コンサルティング、NISTEP、NICT、公益財団法人野口研究所、北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部、AIST

メンバ皆様の参加協力に厚く感謝。
有り難うございます。
新規メンバ、歓迎です！ 

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

委員会の開催

- 【日時】 12/18 (火) 15:00-17:00
- 【会場】 JST東京本部 住宅棟1階会議室
- 以下について出席者間で課題として共有し、小委員会としてはこれらの議論の記録を成果物としてまとめる。
- トピックス1：データポリシー制定、実施、要領策定まで
- トピックス2：データ管理計画の実際、試み、課題
- トピックス3：分野・領域依存性と、日本全体的な共通項（データ利活用に向けて）
- トピックス4：Japan Open Science Summit 2019(5/27-28予定) 当会セッション案
- 紹介：
 1. データ利活用の可能性とDMP/METI 秋山
 2. データリポジトリの運用方針/NIMS 谷藤
 3. JSTでのデータ管理計画および取り巻く状況/JST 小賀坂

JOSS2019で発表しませんか？

- 5/27(月)-28(火)@竹橋講堂
- DMPセッション企画あります

データ管理計画

(DMP: Data Management Plan) とは

研究プロジェクト等における研究データの取り扱いを定めるものであり、具体的にはデータの種類、フォーマット、アクセス及び共有のための方針、研究成果の保管に関する計画などについて記載されるもの

文部科学省「学術情報のオープン化の推進について（審議まとめ）」（2016年2月）
http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/04/08/1368804_1_1_1.pdf

➡ 研究データ管理のための設計図

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

3

DMP策定の意義

- 研究の初期段階から、データ管理を検討することで、しっかりと準備に基づき、研究全体を通じた管理を行うことができる
- 適切なデータ管理は、研究のデータの信頼性を保証し、データの向上につながる
- データ収集の重複などを回避し、効率性を高める

現実には:

- 研究PJを立てたときには予想しないことが起こるもの
- 予定通りに進むとしても、**適切な管理って？**
- 研究公正や信頼性保証は、経営陣の弁なのでは？
- 他人のデータを集めたからといって研究の質が上がるわけではない。効率はあるかもしれないが。

(作る側) 義務化されているから作成するのではなく、より良い研究を行うためにDMPを作ることが望ましい。

(使う側) 研究室や現場で、具体的に何をすれば適切な管理なのか分かりやすく。今より雑用を増やさない賢いDMPを作って欲しい。

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

4

国内の研究助成機関の動向

* データマネジメントプラン（データ管理計画書）の提出を要求

機関名	方針策定状況
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	<ul style="list-style-type: none">「疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト」及び「難病克服プロジェクト」ゲノム医療実現のためのデータシェアリングポリシー（2016.4）2018.5.1以降にAMEDが新規公募する事業について、<u>データマネジメントプラン</u>の提出を義務化（2018.3）
国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)	<ul style="list-style-type: none">「オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針」策定（2017.4）「戦略的創造研究推進事業におけるデータマネジメント実施方針」（2016.2）に基づき、<u>データマネジメントプラン</u>の提出を要求
経済産業省 産業技術環境局	<ul style="list-style-type: none">「委託研究開発におけるデータマネジメントに関する運用ガイドライン」策定（2017.12）<u>データマネジメントプラン</u>の作成を要求
独立行政法人 日本学術振興会（JSPS）	<ul style="list-style-type: none">「論文のオープンアクセス化に関する実施方針」策定（2017.3）データに関する方針は未定

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

AMED：DMP記載事項

- 事業年度
- 事業名
- 研究開発課題名
- 研究から産出されるデータ及びデータ群の総称
- データサイエンティストの所属・氏名等
- リポジトリ（保存場所）
- その他必要事項（各事業の特性等に応じ設定）

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）『データマネジメントプランの提出について』（平成30年3月20日）

<https://www.amed.go.jp/content/000030140.pdf>

JST：DMPに明記する項目

1. 管理対象となる研究データの保存・管理方針
2. 研究データの公開・非公開に係る方針
3. 公開可能な研究データの提供方法・体制
4. 公開研究データの想定利用用途
5. 公開研究データの利活用促進に向けた取り組み
6. その他特記事項

国立研究開発法人科学技術振興機構『戦略的創造研究推進事業におけるデータマネジメント実施方針』（平成28年2月2日）

https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/koubo/data_houshin.pdf

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

7

経産省：DMPで提案する事項

1. 研究開発データの名称
2. 研究開発データを取得又は収集した者
3. 研究開発データの管理者
4. 委託者指定データ、自主管理データの分類
5. 研究開発データの説明
6. 研究開発データの想定利活用用途
7. 研究開発データの取得又は収集方法
8. 研究開発データの利活用・提供方針
9. （他者に提供する場合）円滑な提供に向けた取り組み；（秘匿して自ら利活用する場合）秘匿期間、秘匿理由
10. リポジトリ（プロジェクト期間中、終了後）
11. 想定データ量
12. 加工方針（ファイル形式、メタデータに関する事項を含む）
13. その他（サンプルデータやデータ提供サイトのURL）

経済産業省産業技術環境局『委託研究開発におけるデータマネジメントに関する運用ガイドライン』（平成29年12月）<http://www.meti.go.jp/press/2017/12/20171227001/20171227001-1.pdf>

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

8

小委員会での意見・情報交換から

- 研究者が最も影響を受ける「科研費」でのDMP導入のタイムライン
⇒NIIが進めるDMP試験版に参加しよう
- 競争的資金でのDMP実施状況
⇒情報共有、各機関・立場に活かそう
- 新たな動きとして、データリポジトリ（分野にとってデータプラットフォーム）を分野・領域横断でメタデータ検索ができるようにする試みが始まっている（METI、SIPなど）
⇒DMP作成のヒントになるか
- 相互運用性やデータの質をみるためのメタデータの記述について、標準化への取り組みが進んでいる（NISTなどの研究機関、WDSやNOMADなどの研究コミュニティ、ScienceDataなどの出版社、ほか政策でも）
⇒DMP視点でもウォッチしておこう

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

9

委員会の今後 －FY2019提言書化を目指して

- **DMPというコンセプト**
 - 日常の研究の中で「データを管理する」という考え方を浸透させていくためのアドボカシー（組織トップダウン、ボトムアップ）
- **DMPする（できる）環境**
 - NII等で進めるDMPツールを使ってみた体験の共有とアイデア（研究者主体の声を）
- **DMPで管理したことが、研究の推進にどう活かされるのか**
 - ユースケースの勉強と共有
 - 組織評価やインセンティブに関する情報共有
 - 日本ユニークな事情
 - 分野特性に合わせる臨機応変な（賢い）DMPを目指して

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

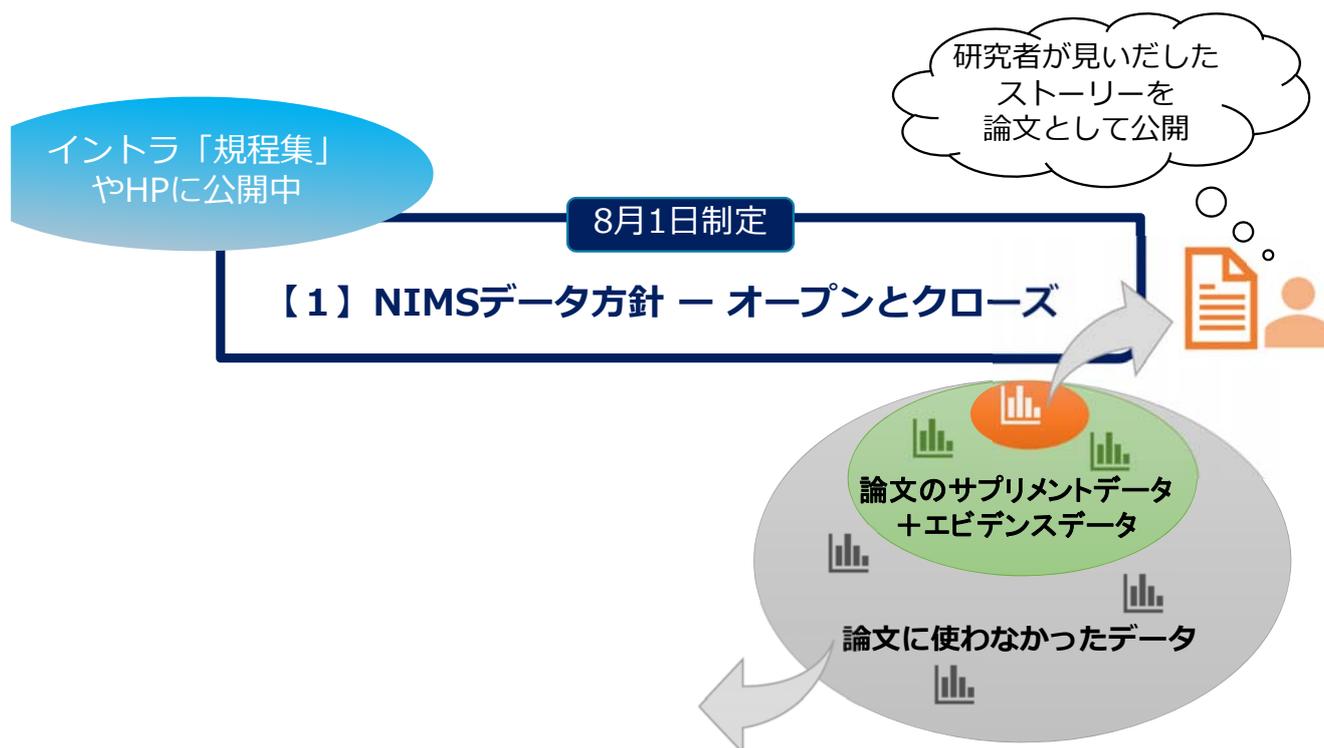
10

DMPを研究という 日常に取り込むには

材料分野の場合 (NIMS)

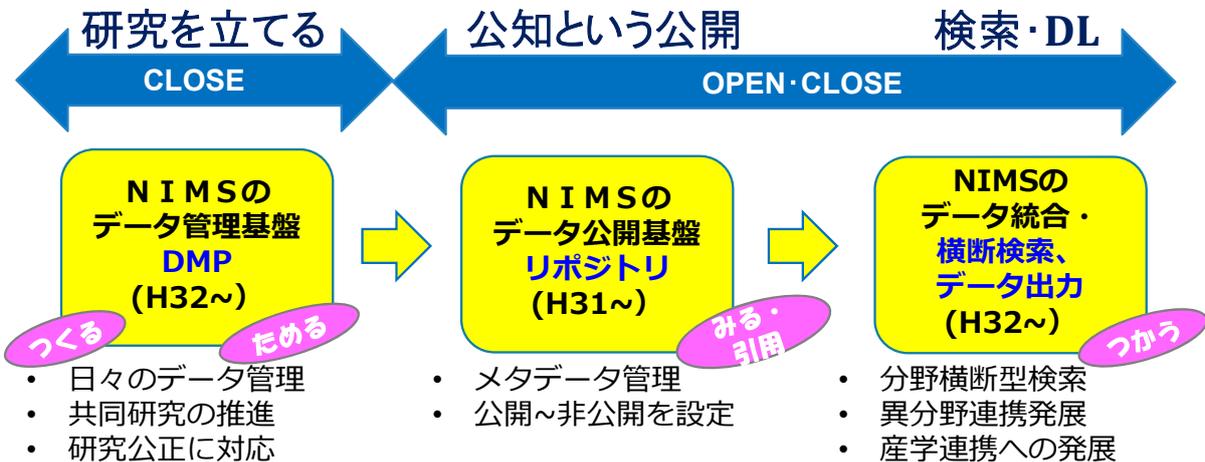
データをつくる・あつめる・ためる・つかう
データプラットフォーム構築中の現場から。

11



データのクローズ・オープン:DMPのライフタイム

- データ管理計画で考えるオープン・クローズ
 - ✓ 研究中の日々のデータはクローズだが、手元での管理はDMPやラボノートで。
 - ✓ 論文等の研究成果として発表する際には、公開を前提としてデータを整理し、リポジトリ登録
 - ✓ 公開の際には、**時期**（いつから）・**範囲**（だれに）・**利用設定**（使うCC-BY、使う制限等）



データリポジトリを安心安全に運用する5つの取り組み

データリポジトリ

(データの来歴・メタ情報・オープンクローズ制御・品質保証・作者/著者/利用者管理)

1. データの質

だれが・いつ・どのような条件で⇒データ
来歴情報を最低限のメタデータとして登録必須

2. データの量

機械学習やインフォマティクス⇒
機械可読にためる・機械学習に使うデータサイクル

3. 適切な利用

データ登録時に、利用ライセンスや契約⇒
データを適切な条件下で利用

4. 安全な環境

利用規則⇒登録者・利用者は、
予めの登録で身元確認

5. データプラットフォームという研究開発の発展の場

- データ形式を整えるツール、用語を変換する語彙などを提供
- データを解析する環境を提供
- 機械学習の時代に応えるデータ生成ツール、多様な用途のAPIを研究開発

NIMSのDMP試案

	プロセス	データマネジメントプランに規定すべき項目(※)
1	企画、計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 対象とするデータ／責任者・責任組織 管理範囲 ・NIMS中長期計画との整合性 資金計画 ・データマネジメントプランの共有化 定期的な見直し計画
2	収集・生成・加工	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証と品質管理 品質基準 取得、収集(整理)方法 登録方法 公開データの形式
3	公開・利活用	<ul style="list-style-type: none"> 公開・共有計画・方法 利用者との合意 データへのアクセス 引用方法、謝辞 データ登録者との合意 データセットに固有のプラン
4	保存・更新・廃棄	<ul style="list-style-type: none"> 保存場所・容量 データ消去の判断指針 維持・拡充方法 管理体制、必要資源

※今後、試行を重ねながら、運用上の効率性や継続性を鑑みて慎重に項目を選定
 ※競争的研究費のDMPとしても使えるように項目を選定していく予定

制度としての DMPを考える

競争的資金におけるDMP (JST)

DMP導入に関する国の方針

統合イノベーション戦略（2018年6月15日閣議決定）

第2章 知の源泉

(2) オープンサイエンスのためのデータ基盤の整備

③ 今後の方向性及び具体的に講じる主要施策

ii) 研究データの管理・利活用についての方針・計画の策定等 (抜粋)

- 国研は、研究分野の特性、国際的環境、産業育成等に配慮し、必要に応じてオープン・アンド・クローズ戦略を取り入れ、データポリシーを策定

脚注：策定法人は、2017 年末時点で2法人であるが、**2020 年度末までに24 法人**（国研のうち、研究資金配分機関であるAMED、JST、NEDOを除く。）**全てでの策定を目指す**（法人内の特定の研究センター・部門等の範囲で策定した場合を含む。）。

- 競争的研究費制度の目的、対象等を踏まえ、大学・国研・企業等の研究実施者がデータマネジメントプラン等のデータ管理を適切に行う仕組みを、各府省・研究資金配分機関が所管の競争的研究費制度に導入（ガイドライン策定や公募要領改訂等）

脚注：導入府省・研究資金配分機関は、2018 年度当初時点で4であるが、**2021 年度予算における公募までに14 府省・機関全てでの導入を目指す**（制度内で特定のプログラム・事業等で導入した場合を含む。）。

17

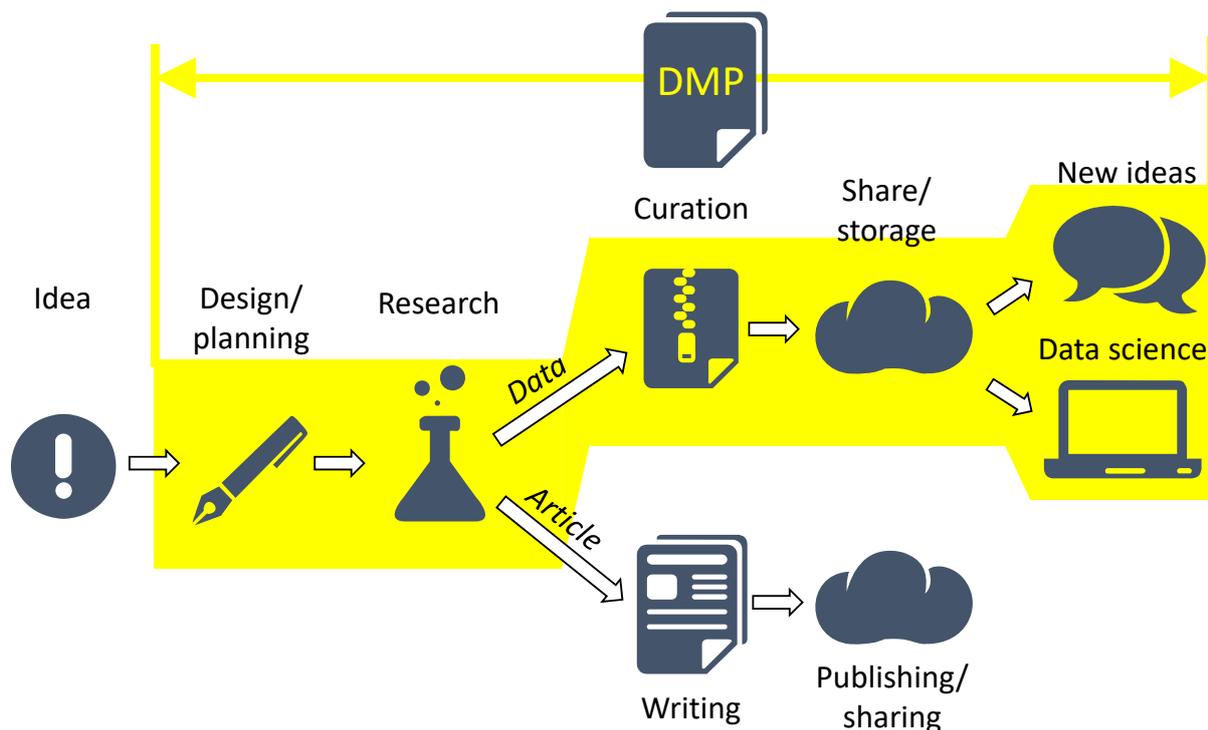
JSTのオープンサイエンス方針

オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針（2017年4月1日）

- 研究成果論文のオープンアクセス化について
 - オープンアクセスを義務化
(グリーンOAを推奨、ゴールドOAも可、その他の方法も可)
- 研究データの取扱いについて
 - ・ **データマネジメントプラン（DMP）の作成**
 - 採択後研究開始までに提出することを義務化**
 - ・ 研究データの保存・管理と公開
 - 論文エビデンスデータの公開を推奨

18

研究ワークフローとデータマネジメントプラン(DMP)



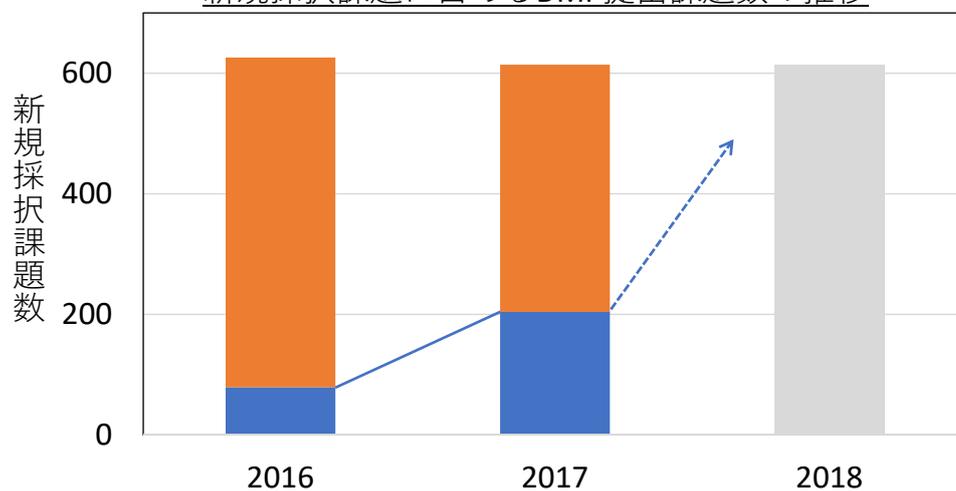
RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

19

JSTは2016年度よりDMPを導入

- 2016年度に戦略的創造研究推進事業に導入
- 2017年度に「オープンサイエンス方針」を策定、全事業へ順次導入
- DMP提出は「採択後」であり、採択審査の対象としない

新規採択課題に占めるDMP提出課題数の推移



20

DMPひな形

JST 戦略的創造研究推進事業 データマネジメントプラン 【年次研究計画書 様式E】

(研究領域略称・研究課題名) (作成日付)

CREST (研究代表者氏名)

(研究領域名)

(1) 研究データ基本情報

データNo.	データ名	データ概要	分類	公開レベル	研究計画書 対応項目	その他 特記事項
1						
2						
3						
4						
5						

(2) 研究データ保存・管理・公開/非公開の方針 ※ (1) で取り上げた各データについて記入

(3) 研究データの想定利用用途 ※各データについて記載。現在は非公開であっても、将来公開が予想されるものも記載のこと。

(4) 研究データの利活用促進に向けた取り組み ※各データについて記載。現在は非公開であっても、将来公開が予想されるものも記載のこと。

1. 研究データ基本情報（データ名、データ概要、分類（実験データ/計算データ、等）、公開レベル、研究計画書対応項目）

2. 研究データ保存・管理・公開/非公開の方針

3. 研究データの想定利用用途

4. 研究データの利活用促進に向けた取り組み

研究者への情報提供

基本方針に係る文書（JST全体）

- ・「オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針」（2017年4月1日）
- ・「『オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針』運用ガイドライン」（2017年4月1日）

研究者向けのマニュアル等（例：戦略的創造研究推進事業）

- ・「戦略的創造研究推進事業におけるデータマネジメント実施方針」（2016年2月）
- ・「『データマネジメントプラン』作成の手引き」（2016年8月）
- ・データマネジメントプランひな形（研究計画書様式として提供）
- ・その他、公募要領・研究者向けマニュアル等に説明文を掲載

その他、事業部におけるDMP作成支援等（担当職員個別の対応）

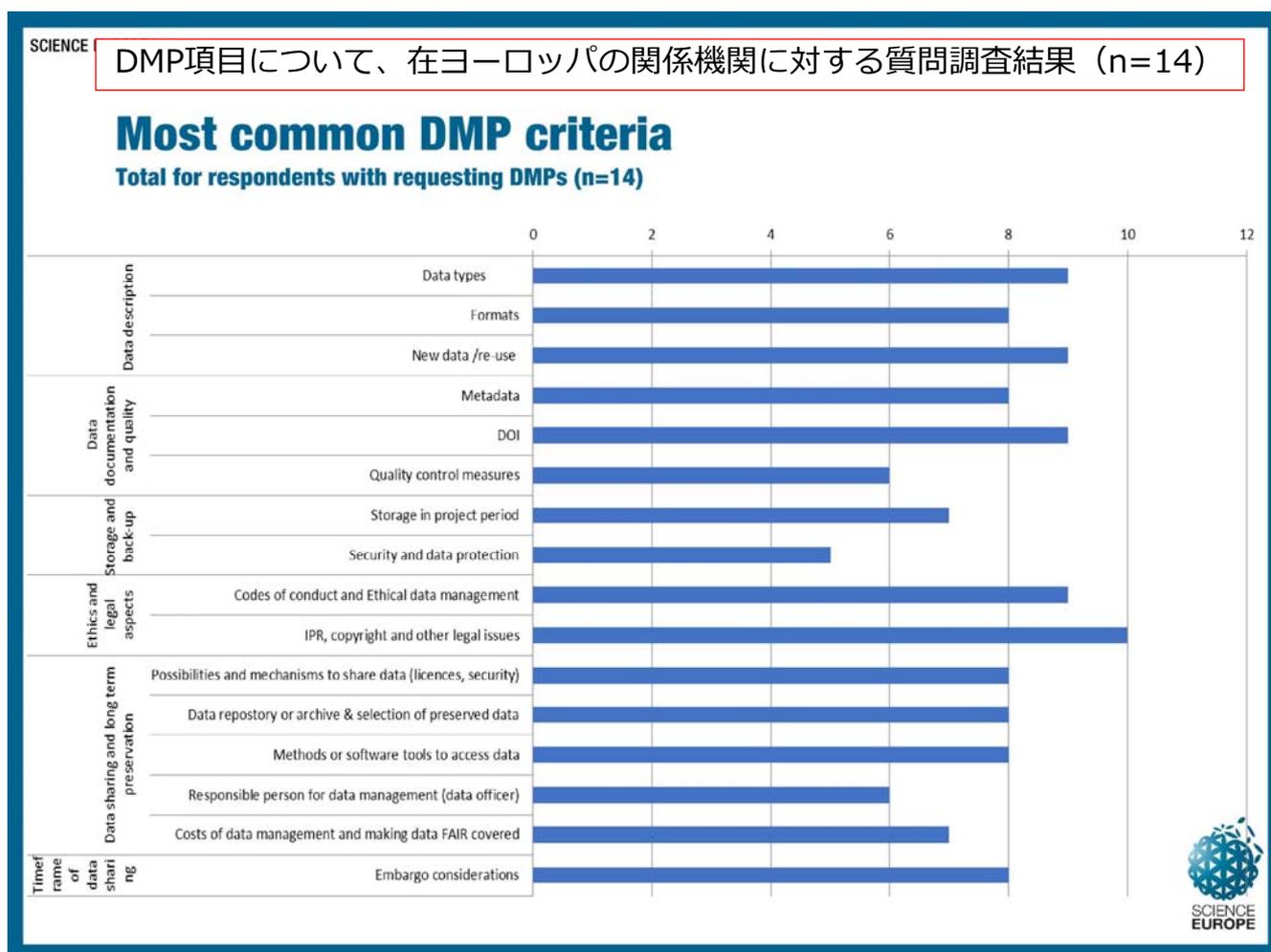
DMPの標準化に向けた動向（事例）

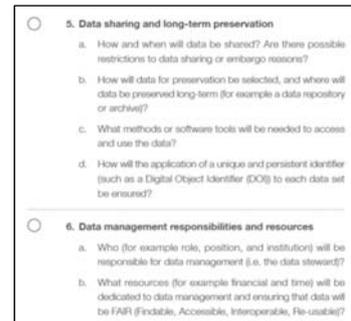
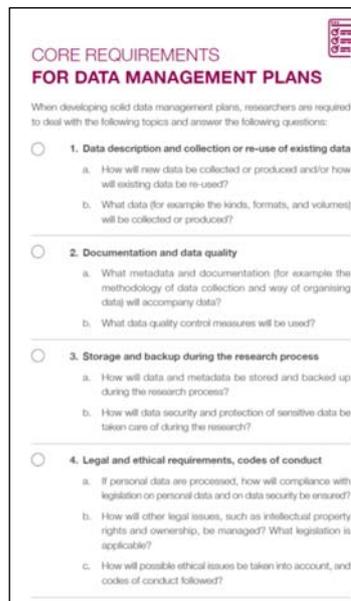
Initiative for the alignment of RDM policies

- Science EuropaとオランダNWOが立ち上げた、研究データ(RDM)マネジメントポリシーの“alignment”を目指すイニシアチブ(2018年1月に会合開催)
- “DMPに対するcore requirement”を含むRDMポリシー案について、意見招請を実施(2018年4月)

DMP項目	記載すべきポイント
1. データの概要、その収集ないし既存データの再利用	<ul style="list-style-type: none"> • データの種類・形式及びサイズ • データ収集/作成/再利用の方法
2. ドキュメンテーション及びデータの質	<ul style="list-style-type: none"> • データに付随するメタデータ及びドキュメント • 使用するPID、データの質保障に用いる指標
3. 保管とバックアップ	<ul style="list-style-type: none"> • 研究期間中のデータ保管とバックアップの方法 • セキュリティと個人情報保護の方法
4. コンプライアンス（倫理、法・規則、行動規範）	<ul style="list-style-type: none"> • 倫理や行動規範に関するマネジメント • 権利関係やその他の法的事項のマネジメント
5. データ共有と長期保管	<ul style="list-style-type: none"> • データ共有の時期と方法 • 長期保管するデータの基準と保管場所 • データへアクセスするための方法やソフトウェア • データ管理の責任の所在 • データ管理とFAIR原則を遵守するために必要なコストと時間

<https://www.scienceeurope.org/policy/policy-areas/research-data/rdm-initiative/> 23





現在、各ファンド機関でDMPの導入が推進されている中、
こうした標準化の動向も踏まえる必要がある

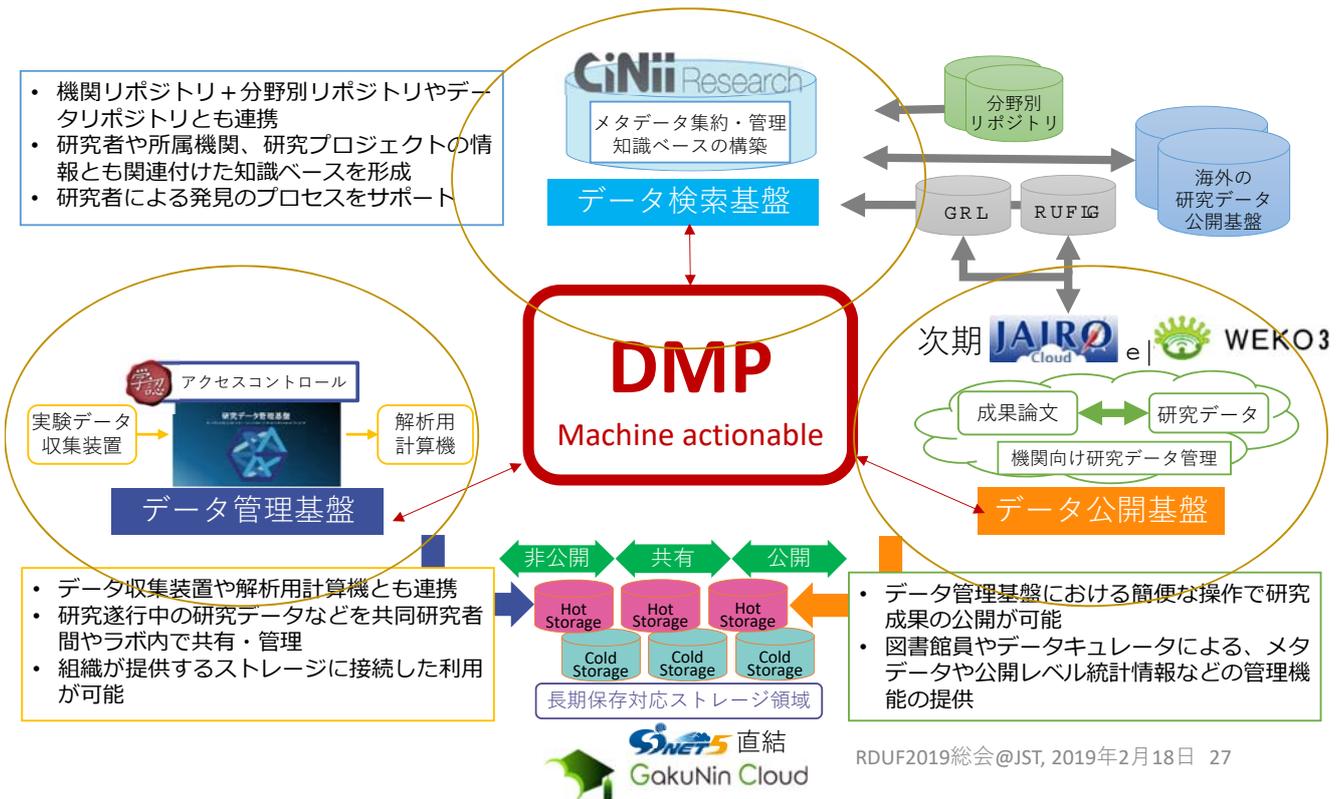
DMPという アプリケーション

日本版DMP (NII)

「義務化されているから作成するのではなく、
より良い研究を行うためにDMPを作ることが望ましい」

RCOS
ojiro@nii.ac.jp

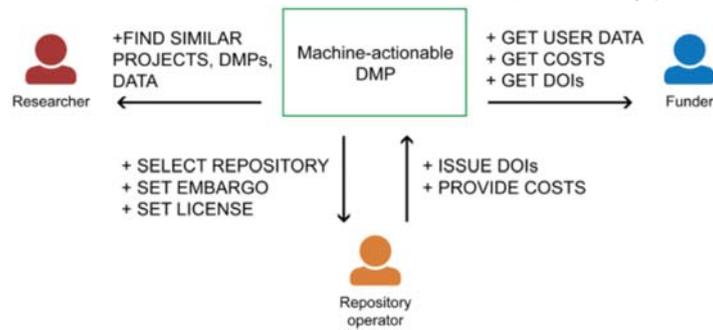
NIIの研究データ基盤（開発中）



機械実行型DMPのための10の簡単なルール

1. 研究データエコシステム内のすべてのステークホルダーのワークフローの中にDMPを取り入れる
2. 自動システムがステークホルダーに代わって作業する
3. 人だけでなく機械用のポリシーを策定する
4. データ管理エコシステムの要素を機械と人の両者に対して記述する
5. PIDと統制語彙を使用する
6. 機械実行型DMPの共通データモデルに準じる
7. DMPを人と機関の両者が利用できるようにする
8. データ管理の評価・モニターを支援する
9. DMPを更新可能で生きたバージョン管理された文書にする
10. DMPを公開する

ステイクホルダー間の相互作用



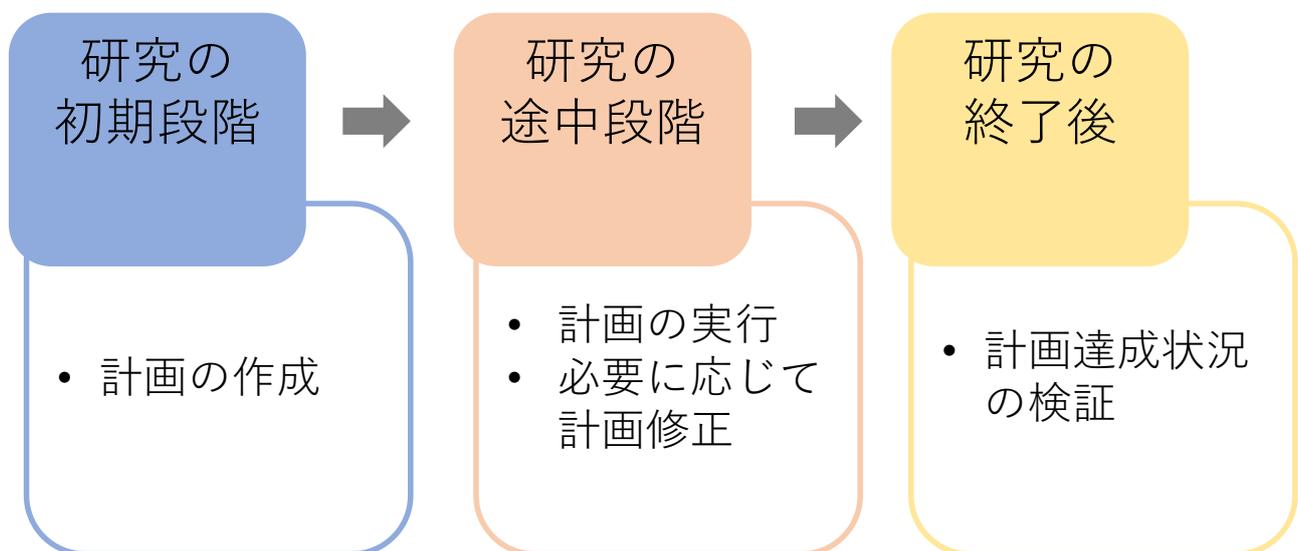
ステイクホルダーは、DMPを介して情報を交換することで、お互いにコミュニケーションを取る。

- リポジトリ運営者は、研究者が提出したデータに対して、適切なリポジトリを選択し、エンバゴ期間を設定し、正しいライセンスを割り当てることができる。
- それに対して、リポジトリ運営者に代わって作業を行うシステムは、データに割り当てられたDOIのリストを提供、ストレージや保存のコストに関わる情報を提供する。
- 同様に、助成団体は、どのようにDMPが導入されたかを確認するために、この情報にアクセスすることができる。
- 研究者は、さまざまなフィルタを利用してDMPカタログを閲覧し、同様の方法論やインフラを利用しているプロジェクトや、同様の成果を生んでいるプロジェクトを検索することができる。

Miksa, Tomasz, Simms, Stephanie, Mietchen, Daniel, & Jones, Sarah. (2018).
 Tenured@100: A machine-actionable data management plan (preprint).
<http://doi.org/10.5281/zenodo.1172673>

29

データ管理計画のライフサイクル



DMPに明記すべき事項

- ①管理情報
- ②データ収集
- ③文書化とメタデータの付与
- ④倫理・法律上のコンプライアンス
- ⑤保管とバックアップ
- ⑥選定と保存
- ⑦データ共有
- ⑧責任とリソース

Digital Curation Centre (DCC), DMP checklist <http://www.dcc.ac.uk/resources/data-management-plans/checklist>

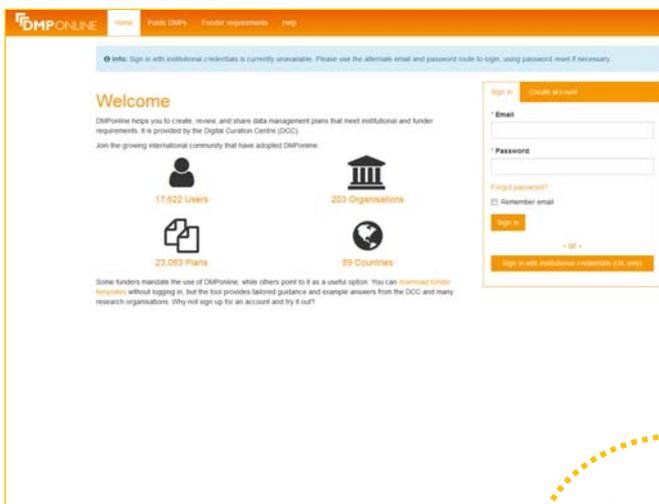
RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

31

データ管理計画作成支援ツール

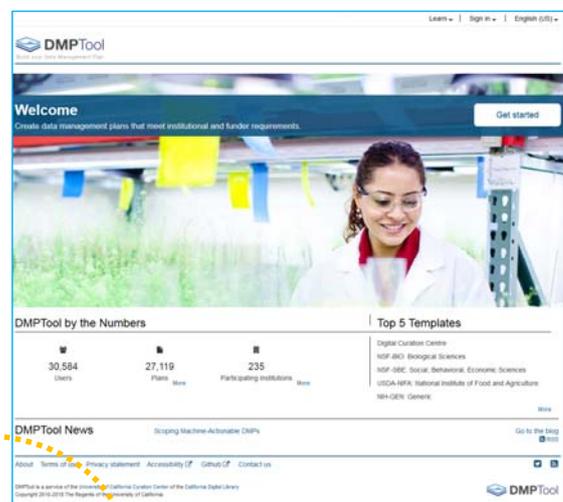
DMPOnline (デジタル・キュレーション・センター)

DMPTool (カリフォルニア大学
キュレーション・センター)



<https://dmponline.dcc.ac.uk/>

誰でも無料で
アカウント
作成可能



<https://dmptool.org/>

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

32

ツールの利点

- データ管理計画作成ツールを利用することにより、作成の負担を軽減することができる
- テンプレート等を用いて、各助成機関等の要件に則った計画書を容易に作成できる
- 共有・公開機能により、他の研究者が作成した計画書を参考にすることもできる

DMPRoadmapの基本機能

システム管理者機能

- 利用者管理機能
- 機関管理機能
- 権限管理機能

機関管理者機能

- テンプレートの作成
- ガイダンスの作成

作成機能

- テンプレートの選択
- 質問への回答
- DMPの作成

管理機能

- 編集
- 削除
- 共有
- エクスポート

検証結果

- DMPRoadmapの基本機能は、日本語版でも概ね正常に動作
- 直感的に操作しにくい（特に、テンプレートやガイダンスの作成手順がわかりにくい）
- エクスポート機能の一部に不具合あり（PDF出力）
- 外部APIについては未検証

今後の計画

- 検証作業の継続
 - JPCOAR（オープンアクセスリポジトリ推進協会）研究データTF
 - RDUF（研究データ利活用協議会）DMP小委員会
 - 国内の研究助成機関等
- 日本版ツールの開発
 - 機械実行型（machine actionable）DMPのプロトタイプ
- 研究データ基盤（NII Research Data Cloud）への組み込み

付録

(NIIが開発する DMP機能の紹介)

DMPRoadmapの日本語版

ようこそ。
DMPRoadmapは研究データ管理計画の作成を支援するシステムとしてキュレーションセンターが共同で開発しました。

ログイン

ojiro@nii.ac.jp

パスワードをお忘れですか?

ログイン状態を保存する

ログイン

所属機関のID・パスワードでログインする (学邦参加機関に所属の方のみ)

アカウントを作成

DMPRoadmapの使用はじめてですか?まずアカウントを作成してください。

お問い合わせ | 利用規約
© 2004 - 2018 National Institute of Informatics

DCC UC3

※2018年1月末時点のソースコードに基づき、日本語化と試験環境を構築

システム管理者機能 (利用者)

The screenshot displays three overlapping windows from the DMP Roadmap system administrator interface:

- 利用者 (Users):** A table listing system users with columns for name, email, affiliation, role, and creation date.
- 機関 (Roles):** A table listing system roles with columns for name, role, affiliation, and contact email.
- 権限 (Permissions):** A table listing system permissions with columns for ID, name, user count, creation date, and status.

Id	名称	利用者	作成日時	
1	add_organisations	4 users	2018/02/02	編集
2	change_org_affiliation	4 users	2018/02/02	編集
3	grant_permissions	6 users	2018/02/02	編集
4	modify_templates	6 users	2018/02/02	編集
5	modify_guidance	6 users	2018/02/02	編集
6	use_api	6 users	2018/02/02	編集
7	change_org_details	6 users	2018/02/02	編集
8	grant_appl_to_orgs	4 users	2018/02/02	編集

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

機関管理者機能 (テンプレート)

The screenshot shows the '新規テンプレート' (New Template) form in the DMP Roadmap system administrator interface. The form includes fields for 'タイトル' (Title) and '説明' (Description). A callout box highlights the process of creating a new template with the title '検証用テンプレート'.

「検証用テンプレート」というタイトルのテンプレートを新規に作る

テンプレートとは？

- DMP作成を支援するために提供する計画書の雛形
- 助成機関や研究機関の管理者が作成

機関管理者機能（テンプレート）

DMPの項目毎に

- 質問文
- 回答例
- ガイダンス等

を作成する

ガイダンスとは？

- 回答のヒントとなるような有益な情報。
- テンプレートと合わせて、助成機関や研究機関の管理者が作成

RDFUF2019総会@JST, 2019年2月18日

41

作成機能（DMPリスト）

サンプルシステム提供機関

DMP Roadmap

管理計画表示 管理計画作成 DMPRoadmapについて 将来計画 ヘルプ 言語指定

研究データ管理計画リスト

作成済みの研究データ管理計画および他の研究者と共有している研究データ管理計画のリストです。これらの研究データ管理計画はいつでも編集、共有、エクスポート、削除することができます。

研究データ管理計画の絞り込み

名前	所有者	共有?	最新更新	処理を選択してください
テストプロジェクト1	自分	いいえ	2018/07/05	編集 共有 エクスポート 削除
テストプロジェクト2	自分	いいえ	2018/07/10	編集 共有 エクスポート 削除
テストプロジェクト3	自分	いいえ	2018/07/18	編集 共有 エクスポート 削除

研究データ管理計画を作成

お問い合わせ | 利用規約

© 2004 - 2018 National Institute of Informatics

D|C|C UC3

作成機能（テンプレートの選択）

研究データ管理計画の新規作成

どんな研究プロジェクトを計画していますか?

プロジェクト名
DMPRoadmap検証プロジェクト

プロジェクト名を入力

代表研究機関

国立情報学研究所

代表研究機関を入力

助成機関

関係する助成機関を入力

どの研究データ管理計画テンプレートを使用しますか?

検証用テンプレート

使用するテンプレートを入力
(システムが最適なテンプレートの候補を表示)

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

作成機能（テンプレートの表示）

使用テンプレート

国立情報学研究所提供している検証用テンプレート

DMPRoadmap日本版の検証用テンプレート

セクション	質問
情報上のデータ	プロジェクト名称は? 主要研究機関と個人数値は? 関連するゼリシーは?
データの集	どのようなデータも収集・生成するの? どのようにデータも収集・生成するの?
文字化とメタデータ	文字化及びメタデータ作成の方法は? 使用するメタデータ標準とその理由は?
倫理・法理のコンプライアンス	データの保存、共有についての同意取得の権利 センシティブデータの匿名化確保のための取り組みは? データの所有権は誰か? 高利用のために付与するライセンスは? 第三者による再利用についての知識の有無
複製とバックアップ	差分ストレージを有しているか? データのバックアップの方法は? 複製発生時のデータの復元方法は?
適定と保存	保存するデータとどのように決定するか? データの保存期間は? リポジトリ/クラウド/ハイブリッドのデータの保存場所は?
データ共有	誰とどのように条件で共有するの? 共有のメカニズムは「リポジトリ/匿名化」? データを体系的に利用する経路は、及びその理由は?
責任とリソース	計画実行の責任者は誰か? データ管理の専門家は必要か? 適切なハードウェア/ソフトウェアは必要か? データリポジトリの費用は必要か?

質問文がセクション毎にまとめて表示

質問に回答

RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

作成機能 (質問への回答)

The screenshot shows the 'DMP Roadmap 検証プロジェクト' (DMP Roadmap Verification Project) page. It features a list of questions and answers. Three red circles are overlaid on the page to highlight specific elements:

- 質問文 (Question text):** A red circle highlights the question text in the first Q&A entry: "内容にメタデータに関する情報はありますか？" (Do you have any information related to metadata content?).
- 回答入力 (Answer input):** A red circle highlights the answer input area for the same question, which contains a detailed response about metadata and JPOCAR forms.
- ガイダンス (Guidance):** A red circle highlights the 'ガイダンス' (Guidance) section on the right side of the page, which provides instructions and tips for the user.

At the bottom of the screenshot, the text "RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日" (RDUF2019 General Meeting @ JST, February 18, 2019) is visible.

管理機能 (編集)

The screenshot shows the 'DMP Roadmap 検証プロジェクト' (DMP Roadmap Verification Project) management page. It includes a form for entering project information and a table for managing questions.

プロジェクトの基本的な情報を入力してください (Please enter the basic information of the project):

- 名称 (Name): DMP Roadmap 検証プロジェクト
- ID (ID): 0000
- 和英番号 (Japanese/English Number): YYYYY
- 所属研究科 (Department): Faculty of Science
- 所属研究科コード (Department Code): ZZZZ
- 連絡先 (Contact): info@jst.go.jp
- 説明 (Description): データ管理が目的の検証プロジェクト (Verification project for the purpose of data management).

ガイダンスの選択 (Select Guidance):

- 国立情報学研究所
- 民間研究機関 (民間電子図書館センター/サンプリング)
- 民間研究機関 (民間電子図書館センター/サンプリング)

その他の機関のガイダンスの選択 (Select Guidance from Other Organizations):

使用テンプレート (Use Template):

国立情報学研究所が提供している検証用テンプレート (Verification template provided by the National Institute of Informatics)

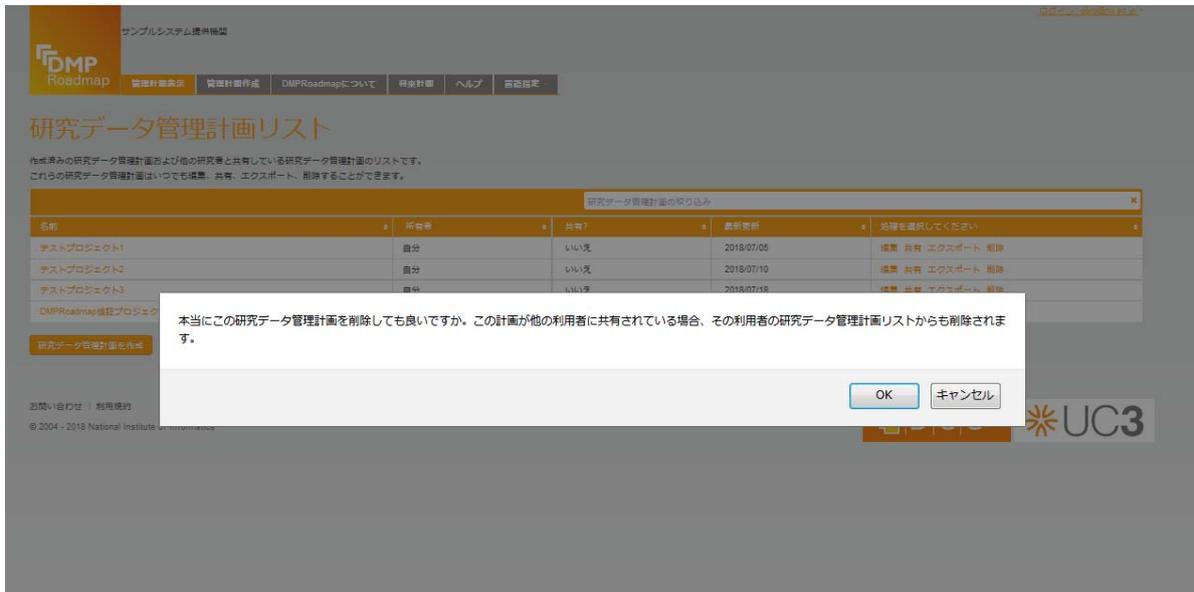
DMP Roadmap 日本産科の検証用テンプレート (Verification template for DMP Roadmap Japan)

質問管理 (Question Management):

セクション (Section)	質問 (Question)
検証上のデータ (Data for verification)	プロジェクト名は？ 所属研究科名と和英番号は？ 設置するポリシーは？
データの品質 (Data quality)	どのようなデータを作成、活用するの？ どのようにデータを作成、活用するの？

At the bottom of the screenshot, the text "RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日" (RDUF2019 General Meeting @ JST, February 18, 2019) is visible.

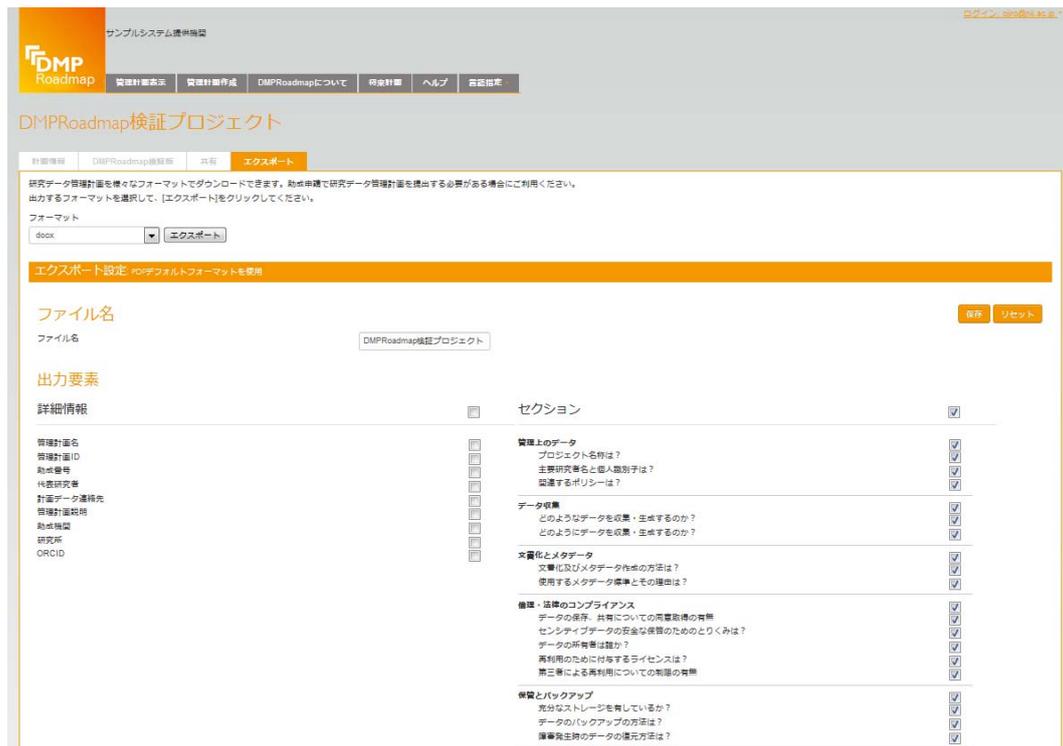
管理機能（削除）



管理機能（共有）



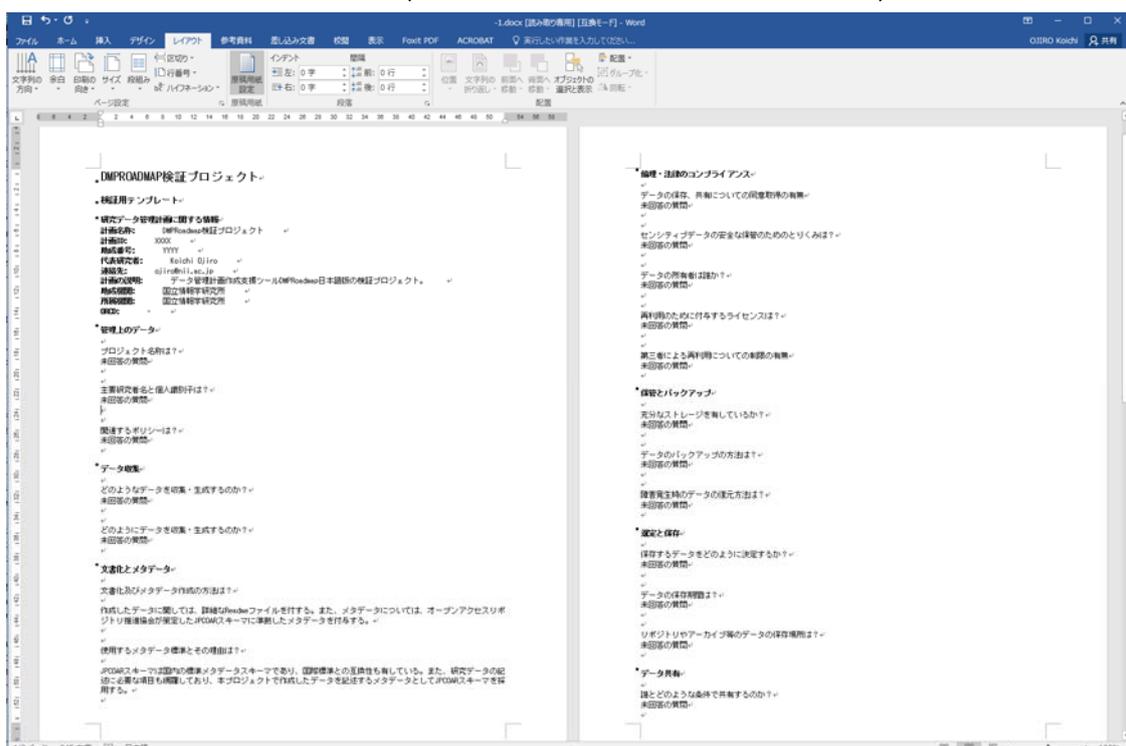
管理機能（エクスポート）



RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

49

管理機能（WORDで出力）



RDUF2019総会@JST, 2019年2月18日

50